

商業簿記

決算整理後残高試算表

平成 22 年 3 月 31 日

(単位：千円)

借方科目	金額	貸方科目	金額
現金預金	(● 6,782)	支払手形	(1,500)
受取手形	(4,000)	買掛金	(8,600)
売掛金	(12,000)	預り営業保証金	(400)
有価証券	(420)	貸倒引当金	(● 810)
繰越商品	(● 3,276)	未払費用	(● 36)
前払費用	(● 38)	未払法人税等	(400)
未収収益	(34)	未払消費税	(● 431)
繰延税金資産	(● 663)	繰延税金負債	(● 304)
建物	(3,570)	リース債務	(● 1,860)
土地	(● 16,800)	リース資産減損勘定	(● 988)
リース資産	(● 1,732)	長期借入金	(● 5,000)
満期保有目的債券	(990)	退職給付引当金	(600)
投資有価証券	(● 640)	資本金	(17,000)
破産更生債権等	(300)	資本剰余金	(5,000)
売上原価	(15,444)	利益剰余金	(8,071)
貸借原価	(● 300)	その他有価証券評価差額金	(● 24)
販売費	(● 1,524)	売上	(23,760)
一般管理費	(2,674)	貸借収入	(400)
建物減価償却費	(● 270)	受取配当金	(35)
リース資産減価償却費	(● 866)	受取利息	(74)
退職給付費用	(● 160)	有価証券利息	(● 40)
貸倒引当金繰入	(610)	有価証券運用益	(● 40)
租税公課	(431)	法人税等調整額	(● 175)
支払利息	(● 236)		
減損損失	(● 988)		
法人税等	(800)		
	(75,548)		(75,548)

【予想配点】 ● 1個1点×25個 =25点

会 計 学

第 1 問

	I 欄 語句の記号	II 欄 正しいと思われる適当な語句
1	b	売上高
2	○	
3	b	特別利益
4	b	ヘッジ手段
5	a	継続企業

【予想配点】 完答各 1 点× 5 個＝ 5 点

第 2 問

問 1

I 欄 資産Aの簿価	II 欄 資産Aの減損損失
¥ 59,500,000	¥ 31,416,800

【予想配点】 各 3 点× 2 個＝ 6 点

問 2

	I 欄 各資産の簿価	II 欄 各資産の減損損失
資産グループ B	¥ ● 12,500,000	¥ ★ 3,400,000
資産グループ C	¥ ● 2,812,500	¥ ★ 512,500
共用資産	¥ 6,250,000	¥ ★ 2,050,000

【予想配点】 ●各 1 点× 2 個＝ 2 点
★各 3 点× 3 個＝ 9 点

第 3 問

負	債	と	は	、	過	去	の	取	引
等	の	結	果	と	し	て	、	報	告
主	体	に	生	じ	る	経	済	的	資
源	を	放	棄	も	し	く	は	引	き
渡	す	義	務			で	あ	る	。

【予想配点】 3 点

工業簿記

第 1 問
問 1

損 益 計 算 書		(単位：円)
売上高		25,000,000
売上原価		
標準売上原価	(■ 14,800,000)	
標準原価差異	366,600	(15,166,600)
売上総利益		(9,833,400)
販売費および一般管理費		4,155,400
営業利益		(★ 5,678,000)

【予想配点】 ■ 2点
★ 3点

問 2

①	7,920,000 円	②	105,600 円	③	2,850,000 円
④	3,758,400 円	⑤	230,600 円	⑥	16,280,000 円

【予想配点】 各 1 点× 6 個 = 6 点

問 3

材料受入価格差異		● 90,000 円	(借)
直接材料費差異	材料消費量差異	■ 105,600 円	(借)
直接材料費差異	労働賃率差異	64,000 円	(借)
	労働時間差異	■ 33,600 円	(貸)
製造間接費差異	予算差異	■ 37,000 円	(借)
	能率差異	14,400 円	(貸)
	操業度差異	■ 208,000 円	(借)

【予想配点】 ● 1 点× 1 個 = 1 点
■ 各 2 点× 4 個 = 8 点

第 2 問

①	経営管理者の各階層	②	● 原価管理	③	原価能率
④	● 予算	⑤	予算統制	⑥	● 利益目標
⑦	調整	⑧	● 予定原価	⑨	● 標準原価

【予想配点】 ● 各 1 点× 5 個 = 5 点

原 価 計 算

問 1

(1) 製品Bの製造・販売を開始した後に、製品Aを3個製造した場合には、製品Bの製造を何個犠牲にすることになるか。

4 個

(2) 製品Bの製造を1個犠牲にするといくらの利益を失うか。

4,000 円

(3) 製品Aを3個製造すると、購入済みの材料aを売却した場合に得られるであろう収益をいくら犠牲にするか。

3,000 円

(4) 製品Bの製造・販売を開始した後に、購入済みの材料aを使って製品Aを3個製造することの機会原価はいくらか。

19,000 円

【予想配点】各2点×4個＝ 8点

問 2

製品Bの製造・販売を開始した後に、購入済みの材料aを使って製品Aを1,500個製造、販売することは、製品Bのみを製造、販売する場合に比べて

500,000 円

有利

不利

【予想配点】完答 5点

問 3

アタッチメントをレンタルしない場合と比べて、このアタッチメントをレンタルするほうが、1ヵ月当たり

3,750,000 円

有利

不利

【予想配点】完答 5点

問 4

(1) 81,120,000 円

(2) 64,480,000 円

(3) 65,400,000 円

(4) 90,955,688 円

【予想配点】● 1点×1個 ＝ 1点

■各2点×3個＝ 6点